

インプラントを長く使っていただくために

インプラントは体にとって「異物」です。本来、「異物」が体の中に入ると生体は、これを排除しようとして炎症反応を起こします。では、なぜインプラントは、排除されないのか？それは純チタンであるインプラントが骨と強く結合するからです。そして、忘れてならないのは、インプラントは歯茎を貫通して骨に打ち込まれているネジで、歯茎は常に穴があいた状態であるということです。

インプラントを長持ちさせるためには、どんなことに注意して日常生活を送らなければいけないのでしょうか？インプラントが駄目になる一番の原因は「インプラント周囲炎」という病気です。これは読んで字のごとくインプラントの周りが炎症を起こす病気です。インプラントの周りの歯茎が腫れたり膿を出したりして、やがてインプラントがグラグラと動き出して脱落してしまいます。「歯周病」と同じような経過をたどります。『インプラントは人工物だから、「歯周病」にならない』と思われる方もいるかもしれませんが、もともと「歯周病」は歯の周り(歯茎、骨)に起こる病気ですから、インプラントの周りでも起こります。そして、「インプラント周囲炎」がいったん起こるとインプラントは「異物」なので、インプラント自体を生体が排除しようとして炎症を拡大し「歯周病」よりも早く進行してしまうこともあります。

「インプラント周囲炎」を予防するには、毎日のブラッシングが重要になります。ブラッシングを怠ると簡単に炎症を起こしてしまうこともあります。特に就寝前のブラッシングは必ず行ってください。しかし、どんなにしっかりブラッシングしても 100%汚れを落とすことは不可能です。日々のブラッシングで残ってしまった汚れを半年に1度、もしくは、4ヶ月に1度の歯石取りできれいにするように心がけてください。また、「インプラント周囲炎」は、過度に噛み合わせる圧力が日常的に加わった時にも起こります。

例えば、就寝時の「歯ぎしり、食いしばり」等です。食事中には過度に圧力が加わることはありません。予防としては、そのような行為が疑われる方にクラウンセット後にお渡しする「ナイトガード」を装着して就寝してください。

最後にインプラントを成功させるためには、ご自身の努力が不可欠です。インプラントを入れなければならなくなった(歯を失った)原因をもう一度ご自身で考えて、反省点を第二の永久歯と言われるインプラントとまだ口の中に残っているご自身の歯の毎日のお手入れに役立ててください。